



# エコポスト

小田原市の環境を考えるための情報誌

vol. 75

## 酒匂川左岸シバザクラの除草作業に参加しました

毎年3回ほど除草作業を行っています。今回は下水道対策委員会及び地元自治会の共催で7月18日（土）に開催され、小田原市環境政策課などの職員も十数名参加され、本協会からも参加しました。今年の高い気温の中、全員暑さに負けずに、夢中で除草作業を行っていました。来春にはピンク色の花の素晴らしさを皆さんに堪能していただきたいです。

（小田原市環境ボランティア協会会員）



## 小田原みなとまつりクリーン作戦



平成30年8月5日（日）のみなとまつりに合わせて実施した「みなとまつりクリーン作戦」に参加していただいた城山中学校の生徒や保護者から感想をいただきましたので、ご紹介します。

私はこれまで地域の役に立ちたいと思い、ボランティア活動をしたと思っていました。しかし、どうすればいいかわからなかったのが、学校の生徒会を通して今回のクリーン作戦に参加しました。

早川漁港の清掃の日は、とても暑くて大変でした。その中でも一番驚いたのが、缶や発泡スチロールなどの漁港とは関係のなさそうなゴミがたくさんあったことです。でも、ボランティア協会の方達は漁港の人に「去年よりもゴミが少なくなっていますね。」と言っていたので、前まではもっとたくさんゴミがあったんだと感じました。だから、皆がゴミを規定の場所に捨て、漁港をもっときれいな場所にしたいし、たくさんの人にこのことを知ってほしいと思いました。

私は、今まで何回か漁港に行ったことはありましたが、そこまでゴミがあるとは思っていませんでした。日頃から、周りのゴミを拾ったりして、きれいな小田原を創りたいです。

（城山中学校 1年2組 水貝 恵麻さん）



2018/08/05

8月5日（日）午後、早川駅に集合し、みなとまつりが行われている早川漁港へ向かいました。そこには城山中学校の1年生2名も来ていました。今年の夏は例年に増して暑く、ゴミ拾いをしながら汗がしたたり落ちてきました。途中、おまつりの演奏が聞こえてきました。松任谷由美さんの「ルージュの伝言」で少し元気になりました。

おまつりに参加されている方々のマナーも良く、大きなゴミや食べかすなどはあまり見当たりませんでした。おまつりの終盤のゴミ拾いは半分はおまつりを楽しんでいるような気分でした。

子とともに2年連続で参加させていただいていますが、中学生にとってもボランティア活動は貴重な経験になると思われます。特に地域のために活動することは、小田原の活性化のための地道な取組の第一歩になりそうです。また、このクリーン作戦にはいろいろな年代の方が参加されており、中学生から年配の方までの世代間交流の場にもなりそうです。

活動後にかき氷を頬張る子の姿は、いつもよりおいしいものをいただいているようでした。少し頑張った後の格別のご褒美のようです。ボランティア活動に参加するためには、心のゆとりも必要です。逆にボランティア活動に参加することで、心にゆとりが生まれることもあります。何かと忙しい日常生活の中で、このクリーン作戦への参加によって、自身の生活態度も見直すことができました。ありがとうございます。

（城山中学校生徒保護者 加藤 直樹 様）

# 小田原酒匂川花火大会翌日美化清掃を実施しました！

環境ボランティア協会では、例年、酒匂川花火大会の翌日に、美化清掃を行っています。今年度も8月5日(日)に開催。ご協力いただいた方から、感想をいただきましたので、ご紹介します

- ・ボランティア活動が大変なのを改めて知ることができました。また参加したいです。
- ・花火大会の後は意外にゴミがあってびっくりした。でもやりがいがあった。
- ・地域のボランティアに参加することで、毎年こんなに汚れているんだと改めて街について知ることができました。
- ・少しでも自分の街を自分できれいにできて良かった。
- ・来年も参加したいです。
- ・自分の街をきれいにできて良かった。



# 酒匂川右岸清掃を実施しました！

環境ボランティア協会では、毎年秋に「酒匂川の河口をきれいにしよう！」を合言葉に地域の皆様と共同作業で清掃活動を行っています。今年は10月28日(日)皆様にご協力いただき、清掃活動を実施することができました。ご協力いただいた白鷗中学校の生徒からの感想文を紹介します。



※この他にも平井さん、風田川さん、千葉さん、井上さんから感想をいただいております。皆様ありがとうございます。

酒匂川右岸清掃をして感じたことが二つあります。一つは、自分が思っていたよりずっとゴミの量が多かったことです。清掃した時間は長くなかったのに、拾ったゴミの量は驚くぐらい多かったです。

二つ目は、ゴミをこれだけ拾っても、ポイ捨てし続ける人がいることを改めて実感したことです。ゴミをポイ捨てしてしまう人の気持ちゴト変えないと、いくら清掃をしてもキリがありません。清掃はもちろん、ポイ捨ての注意をすることが大事だと思いました。

こんなふうには思えたのは、右岸清掃のおかげです。なかなか自分一人では体験ができないので、参加することができて良かったです。次の清掃も積極的に参加していきたいです。

(白鷗中学校 堀本 葉月さん)

# 酒匂川左岸シバザクラのマイ花壇補植に参加して。

11月10日(土)、晴天に恵まれ、参加者約60人で午前10時から1時間かけてシバザクラの補植作業を行いました。

皆さん、堤防の坂から落ちないように足を踏ん張り、夢中で補植や除草作業を行いました。春にピンク色の花が見事に咲き、酒匂大橋から眺める素晴らしい景色は何とも言えない喜びと、美しさを皆さんに与えてくれるでしょう。

皆さん、是非花の見ごろに行ってみてはいかがでしょうか。

(環境ボランティア協会会長 西島 摩瑛頭)



# 城下町おだわらクリーン作戦開催！

毎年、「城下町おだわらツデーマーチ」開催に先立って行う、『城下町おだわらクリーン作戦』しました。今年も多くの方にご参加いただきました。ご参加いただいた方からの感想をご紹介します。

11月11日（日）に実施された清掃ボランティア活動に参加させていただきました。同活動は翌週17日・18日に開催される『第20回城下町おだわらツデーマーチ』に先立ち実施されるもので、毎年会社の行事として参加させていただいています。参加者は、小田原城周辺・早川漁港・城山周辺と大きく3コースに分かれ、各コースに20人前後の参加者となりました。

私どものように企業として参加された方々や、地域住民の方々など多くのボランティア参加者が集まり、皆さんの意識の高さを実感しました。

このたび、私どもは城山周辺の清掃を行い、その活動中にも思いましたが、全体的に街中に落ちていたゴミが少なく、これは普段から地域住民やボランティアの方々の貢献はもちろんのこと、市の職員による小田原のきれいな街づくりの活動に加え、小田原城や周辺の観光に訪れる観光客の協力なくして出来ないものだと思います。

活動中においても、住民の方に「御苦勞様」、「ありがとう」などお声を掛けていただくこともあり、参加者同士だけでなく、些細ながらも地域の方とコミュニケーションをとることもでき、地域に密着したとてもやりがいのある活動だと感じました。

今回の活動は『第20回』とのことですが、このような地域密着の心温まる活動をこれからも継続して実施していただきたいと思ひます。

(中日本ハイウェイ・パトロール東京(株)小田原基地 小林 剛 様)



## 三の丸小学校生徒によるゴミ拾い活動！

「城下町おだわらツデーマーチ」開催を前に、三の丸小学校4年生生徒が小田原城周辺の清掃活動を行ってくれました。若い方達のこういった活動は、非常に重要であり、これからの励みにもなります。参加された生徒からの感想文をいくつか紹介します。

街中をゴミ拾いするなんて初めてだし、車も通るから、最初は「事故が起きたらどうしよう。ちゃんとできるかな。」と、とても不安でした。

でも、ゴミは拾えたし、事故にも合わず、安全にできたので楽しかったし、良かったです。それに、街中を見みると、ゴミが落ちてないようで、なんだあと思ったけれど、よく見てみると、タバコの吸い殻やプラスチックが多く落ちていました。

でも、そのほとんどを中田先生が拾ってしまったので、次からは中田先生に先に拾われないようにしようと思いました。

本当に楽しかったし、西島さんとのいい思い出になりました。

(三の丸小学校4年 坂本 花音さん)



この間はありがとうございました。おかげで海岸以外の清掃体験ができました。それに一つ学んだことがあります。それは、街中のゴミは、もちろん歩道にもありますが、道路と歩道のちょうど間のところや、マンホールのあたりにたくさんあるとわかりました。

帰ってきたときに西島さんが言った『積小為大』という言葉を変えて振り返りました。

本当にありがとうございました。

(三の丸小学校4年 野口 奈央さん)

この他にも、飯田さん、松野さんから感想文をいただきました。参加していただいた生徒のみなさん、中田先生、本当にありがとうございました。

# 環境にも「積小為大」の実践を～第3回UMECO祭りの参観から～

去る11月25日におだわら市民交流センターUMECOで開催したイベントでは、約100の市民活動団体が日頃の活動を紹介していました。

当日の参観者数は主催者発表によると4,000人とのことで、大変な盛況ぶりで驚いています。

しかし、環境関係の活動紹介コーナーは10分の1程度であり、今や行政や先覚者がリードする時代は過ぎているのに残念なことであります。

近年の気象状況は今世紀末には3～5℃も平均気温が上昇することが予測されている上に、国内の最高気温が41.1℃になるなど、異常さが更新されてしまっています。この原因は人類によって生じていることは誰でも理解しているのだから小さな事、例えば洗剤を少量に、電気をこまめに切るなどに心を用いて環境保全という大きなことに繋げたいものであります。

UMECO祭りの中の環境コーナーは、地味な紹介になっても「積小為大」の精神で人類の平和と幸福になるとの心意気で進んで欲しいと思っています。

(環境ボランティア協会 高松 民吉)

## かんきょう伝言板

\*\*\*\*\*イベントのご案内\*\*\*\*\*

### ◇環境美化促進重点地区啓発キャンペーン

小田原駅を中心とした環境美化促進重点地区の清掃活動を行いながら、きれいな街、良好な生活環境をつくる啓発キャンペーンを行います。

【日時】1月16日

2月6日・20日

3月5日

4月2日・16日

5月7日・21日

いずれも木曜日の13:30～15:00

(雨天中止)

【集合場所】小田原駅西口駅前ロータリー（北條早雲像前）

【集合時間】13:20

【持ち物】軍手

【主催】小田原市環境ボランティア協会

【連絡】西島（23-3740）

### ◇落書き消しのボランティアを募集します！

小田原市内において、11年前から落書き消しの活動をボランティアで実施しています。活動を開始してから、徐々に落書きの数も減ってきてはいますが、まだ歩道橋やガードレールなど目に付くところに落書きがされています。

そこで毎月の活動（不定期）に、ぜひご参加いただける方を募集します。みんなの手で小田原のまちを落書きが一つもない綺麗なまちにすることを目標に活動してみませんか。

実施日や活動の内容等につきましては、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

【持ち物】汚れてもよい服装・軍手

【連絡】環境ボランティア協会 西島（23-3740）

【今年12月までの実績】市内全域13,021箇所

\*\*\*\*\*小田原市からのご案内\*\*\*\*\*

### ◇食品ロス削減のため「おいしく残さず食べよう！」

食べられるのに捨てられてしまう食べ物「食品ロス」が全国で年間約646万トンも発生しています。

夏休みやお盆になれば、家族や親戚集まっの食事が増えることと思います。ご家庭でもできることを実践することで食品ロス削減へぜひご協力ください。

【家庭編】

・計画的な買い物

安いからなどの理由で必要以上に食材を買いこむと、使い切れないことがあるため、特に、傷みやすい食材は、計画的な買い物をすることを心掛けましょう。

・冷蔵庫・家庭内の在庫管理

普段からこまめに家庭内の食品の在庫や消費期限・賞味期限を確認しましょう。

・使い切り

野菜の皮や茎も料理に取り入れるなど、食べられる部分は使い切り、結果、食材の栄養も余すことなくとれます。

・食べきり

食べ残しを減らすために、料理は食べられる量だけ作り、余った料理はアレンジしたり、小分けにして冷凍庫で保存したりするなど、食べきる工夫をしましょう。

【外食編】

・注文時

食べられる量だけ注文し、必要に応じて小盛りメニューを選ぶなど、注文段階で工夫をしましょう。

・料理が余ったら

食べきれない料理はみんなで分け合しましょう。

【担当】

小田原市環境政策課ごみ減量推進係（33-1471）

◎エコポストの制作にご協力いただける方を募集しています。ご興味がある方はぜひお問合せください。

また、イベントや活動紹介などの掲載をご希望の方は、事務局（33-1472）までご連絡ください。（常時原稿募集中）

【発行日】2018年12月18日

【発行責任者】小田原市環境ボランティア協会 会長 西島摩瑛顕

【事務局】小田原市環境部環境政策課